

科目名	精神看護学特講Ⅱ			分野・必選別・単位数	専門科目 (精神看護学)	選択必修	2単位
担当教員	◎教授 松澤和正					科目ナンバー	T2C118
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	精神看護の臨床実践のあり方を振り返りつつ問うには、研究的な視点やアプローチが欠かせないが、臨床実践とその研究的アプローチとの間には架橋困難な乖離や課題が山積している。本授業では、このような現状を乗り越え、臨床実践と研究的アプローチとがほとんどシームレスに接近し、新たな臨床実践や臨床研究のあり方を求めるためのいくつかの論点や視点を提起し議論できることを目的とする。						
授業の到達目標	精神看護領域における臨床実践とそれを探求する研究的アプローチのあり方を整理・検討し議論することを通して、臨床実践と研究的アプローチの実践的な統合のあり方や方向性を概説できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	松澤 和正	教授	科目概説 授業の目的、内容、方法、評価等を説明できる。			
	2	松澤 和正	教授	精神看護の実践方法としての看護過程について歴史的整理・概説と評価ができる。			
	3	松澤 和正	教授	精神看護の実践方法としての看護過程について現状と課題を整理・概説し議論できる(1)			
	4	松澤 和正	教授	精神看護の実践方法としての看護過程について現状と課題を整理・概説し議論できる(2)			
	5	松澤 和正	教授	看護過程における臨床的事実の記述・再構成の意味と課題について整理・概説し議論できる(1)			
	6	松澤 和正	教授	看護過程における臨床的事実の記述・再構成の意味と課題について整理・概説し議論できる(2)			
	7	松澤 和正	教授	看護過程における臨床的事実の記述・再構成の意味と課題について整理・概説し議論できる(3)			
	8	松澤 和正	教授	精神看護の臨床実践が研究的アプローチでもありうる「研究的臨床実践」の条件・方法・課題について整理・概説し議論できる(1)			
	9	松澤 和正	教授	精神看護の臨床実践が研究的アプローチでもありうる「研究的臨床実践」の条件・方法・課題について整理・概説し議論できる(2)			
	10	松澤 和正	教授	精神看護の臨床実践が研究的アプローチでもありうる「研究的臨床実践」の条件・方法・課題について整理・概説し議論できる(3)			
	11	松澤 和正	教授	「研究的臨床実践」のための基本的な方法論としてのカテゴリー化分析の可能性について整理・概説し議論できる(1)			
	12	松澤 和正	教授	「研究的臨床実践」のための基本的な方法論としてのカテゴリー化分析の可能性について整理・概説し議論できる(2)			
	13	松澤 和正	教授	「研究的臨床実践」のための基本的な方法論としてのシーケンス分析の可能性について整理・概説し議論できる(1)			
	14	松澤 和正	教授	「研究的臨床実践」のための基本的な方法論としてのシーケンス分析の可能性について整理・概説し議論できる(2)			
15	松澤 和正	教授	「研究的臨床実践」のための包括的な整理・概説と議論ができる。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	授業内容に関する指定された文献等を事前に読み込み、自分なりの理解ができるようにしておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	適宜文献等を指定する。						
参考書	適宜文献等を指定する。						
成績評価の方法および基準	レポート50%、口答発表50%で評価する。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行うので有効に活用すること。 この科目は、本専攻の学位授与方針2と関連していることに留意し授業に取り組むこと。						